

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

先日、弁護士会館で開催されたシンポジウムにパネラーとして呼ばれました。弁護士過剰時代といわれる今、10年かかって弁護士になっても年俸350万円という人もいる現状。禁止されていた広告も解禁になり、今ではCMまでしています。そんな中、生き残りをかけ「若手経営者による弁護士の選び方」というお題でディスカッションしました。パネラーは従業員が数百人の会社社長と創業210年の老舗会社の跡取りと……私。私？私でよいの？(笑)

さすが弁護士集団。活発なロジカル議論で、会は白熱。一つの論点はセカンドオピニオン。医療の世界だけでなく、弁護士の世界にも急速に広がっているそうです。「弁護士はこう言っているが、この判断で良いのか？」という相談。弁護士により解釈は違うことがあり、裁判をしなければ分からないことも多いので難しいそうです。また、弁護士費用は規程がないのです。故に事務所によって金額が違います。比較して安いところに依頼する人も増えてきました。

裁判の勝敗は、事象と弁護士と裁判官によります。選択の基準はズバリ、弁護士のパーソナリティと専門性。弁護士先生もこれだけ生き残りの研究をしているのですから、薬剤師もうかうかしてられないと思いました。頑張ろう！

Medisere (メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子